



**第265号**  
 編集責任 筑波大学新聞  
 編集委員会 委員長 中村紀一  
 TEL: 029(853)2040・6699  
 E-mail shinbun@sakura.cc.tsukuba.ac.jp  
 月刊  
 発行所 筑波大学  
 茨城県つくば市  
 天台1-1-1

第3回つくばベンチャー大賞

山海教授の「HAL」が大賞

谷川教授が特別賞に



30キロの米が「HAL」で子犬の重さを感じる

本学発ベンチャー 設立数3年連続1位 産学連携の支援成果

「経済産業省は9月3日、平成18年度大学発ベンチャーに関する基礎調査」の中で、本学は昨年度、全国の国公私立大学のうち、最も多い8社の大学発ベンチャーを設立したと発表された。本学の年間設立数1位は、今回で3年連続。累計では61社で、前年度と変わらぬ5位だった。

本学発ベンチャーは最近3年間で32社が設立されており、本学のベンチャー事業は全国トップレベルと言えらる。

躍進の鍵は本学の支援システムにある。大学発ベンチャーを支援する筑波大学産学リエゾン共同研究センター(IIC)の専任教員、菊本孝教授(基医)によると、平成16年度から始めた「産学連携推進プロジェクト」が効果を上げているようだ。審査を通りプロジェクトに採用されると、人的支援やインフラ面、金銭面での支援を受けられる。ベンチャーを専門とするアドバイザーを外部から非常勤講師として招き入れ、創業を支援するなど、ベンチャーの弱みである「ビジネススキル」を補えることが、大きな成果をあげているようだ。

昨年度は同プロジェクト



つくば歳時記 葉が色づき始めた公園にベースの音が響く(本学周辺の公園で)(撮影・篠崎真希=国際総合学類)

つくば発ベンチャー企業を顕彰する、第3回つくばベンチャー大賞の授賞式が10月25日、ホテルグランド東雲(つくば市小野崎)で行われた。本学発ベンチャーでは、「CYBERDYNE」(本社つくば市吾妻)が大賞を、「ソムノクス」(本社同)が特別賞を受賞した。

つくばベンチャー大賞に選ばれたCYBERDYNEは、山海亭教授(知機)の研究成果を活用することを目的に、04年6月に設立された。山海亭教授が開発したサイボーグ型ロボットスーツ「HAL」は、体に装着することで身体機能を拡張・増幅することができ、人と機械と情報を融合した、新しい学問領域であるサイバニクスは、世界で注目を集めている。つくば・安全安心社会賞に選ばれたソムノクスは、谷川武教授(社医)が05年7月に設立。人間総合科学研究科の研究成果をもとに、日本特殊陶業本社(名古屋瑞穂区)とソム

ノクスとの共同開発を行った。ソムノクスは、昼間に強い眠気を感じ、居眠り運転などの原因となる睡眠時無呼吸症候群(SAS)を自宅で簡単に発見できる装置。本体を腕に、呼吸センサーを鼻に取り付けて、通常通り一晩睡眠をとるだけで検査データを取得することができ、すでに日本通運や東京メトロで採用されている。

同賞はNPO法人つむぎつくば(代表 高木英明教授・社マ)の主催で、21の応募企業の中から大賞1社、特別賞5社を決定した。選考委員長も務めた高木教授は「年商1億を超える企業がなくなった。つくば発ベンチャー企業の賞が高まっている」と話した。

コミュニティFM局 来年3月に開局予定 国立大初の実現へ

ラジオを通して本学と地域の交流を深めようと、コミュニティFM局を本学に開設する計画が、来年3月に実現する見込みだ。2004年から足立和隆准教授(体育)が進めてきたラジオを通して本学と地域の交流を深めようと、コミュニティFM局を本学に開設する計画が、来年3月に実現する見込みだ。2004年から足立和隆准教授(体育)が進めてきた

計画で、実に4年かけて開局にこぎつけたこととなる。開局すれば国立大では初の、地域と大学をつなぐラジオ局が誕生する。

開設されるラジオ局は、総合研究棟Bの屋上にアンテナを設置し、周波数は84.2MHzの予定。半径10キロ以内ならFMラジオチューナーで受信できる。

足立准教授は「大学の知的財産を地域に提供できる番組制作」を目指している。例えば管弦楽団の演奏を解説しながら流す、教授の対談を放送するなどが考えられる。災害時の緊急連絡への使用も重要な目的だ。

「これまでの道のりには多くの問題があった。まず資金不足。使用可能な周波数の調査のために150万円が必要だった。平成16・17年度には本学の社会貢献プロジェクトに採択され、合計150万円の援助を受けた。しかし、さらに正確な周波数調査を行うための資金が必要になり、運営には株式会社を設立しなくてはならないことがわかった。足立准教授は「大学の知的財産を地域に提供できる番組制作」を目指している。例えば管弦楽団の演奏を解説しながら流す、教授の対談を放送するなどが考えられる。災害時の緊急連絡への使用も重要な目的だ。

文化遺産研修を採択

全国の大学、高等専門学校今年度から新設した「社会文化遺産研修」を採択された。HALは世界標準のシステムとしての第一歩を踏み出した。利用者により簡単に使える技術を開発していきたい」と話した。

CYBERDYNEは、年間500体のHALを生産できる研究開発センター

育推進プログラムが7月21日、発表された。本学からは、人間総合科学研究科世界文化遺産学専攻が提出した「文化遺産を活用した地域再生のための学びなおし研修」(代表 日高健一郎教授・芸術)が採択された。今年1年で1900万円円の支援を受ける。この研修はこれから3年間実施する予定だ。

「文化遺産を活用した地域再生のための学びなおし研修」は、文化遺産の保護に関わる最近の動向を学び、企業や社会の中で文化遺産保護の意識を高めることが目的だ。今年12月から来年2月にかけて、東京国際フォーラム(東京・千代田区)などで土日を利用して

「まちづくりWS」 鉦田二高生が発表  
 湯島聖堂 江戸の「学習」空間を再現  
 柔道体重別秋元、伊部が初優勝  
 バレー秋季リーグ 女子2年ぶりの優勝  
 宿舎浴場 休日の営業時間を変更  
 北条の町おこし物産展「北条市」を開催

11 10 9 5 2

特集 6,7  
 知られざる大学職員の思い 筑波大の「働きマン」を探せ

三特集 3  
 秋の夜長にこの一本 私が薦めるこの映画

「昨年秋から世間を騒がせ始めた」耐震強度偽装問題」。「マンションなどの建造物の耐震強度が不足しているにもかかわらず、基準を満たしている」として構造計算書を偽装した問題だ。被害者達は、物件購入のローンと新たな住居の家賃の二重苦を抱えている。▼2学期の半ばを過ぎると、宿舎で暮らす本学生によるアパート探しも激化する。「学生の街」と呼ばれるだけあって、大学周辺には多くのアパートやマンションが建ち並ぶ。それぞれ、1万円代前半から5万円を超えるものまでさまざま。その中から、自分にとって最良の物件を探さなければならぬ。▼おいしい話の裏には、何か理由があることが多い。問題の物件は「お得意」だった。鉄骨の数を少なくしていたのがその理由の一つだ。「お得意」な物件を見つけても、すぐには飛びつかず、その裏にあるものを考えてみる必要がある。▼物件の家賃や所在地、大まかな設備、間取りなど、資料に記載されていることは、多くの人が最初に確認する。だが、物件周辺の治安や夜道の暗さ、日当たり、立て付け、隣人の様子など、資料には記載されていない要素も重要だ。▼入居を決める際、鉄骨の数を確認し、せめて自分で意識すれば知ることができるとおへきたらう。

高大連携「まちづくりワークショップ」

鉾田一高生が発表

本学教員や院生が指導

大学から遠い町への貢献も

本学と県立鉾田第一高校の視察から考える茨城のまちづくりの公開発表会が10月30日、同校で開かれた。まちづくりワークショップ(W.S.)「高校生」の発表が行われた。



まちづくりの専門家を前に緊張した面持ちで発表を行った

WSは7-8月にかけて鉾田とつくばで全5回開かれた。本学から社会学・都市計画分野の教員7人と、TAとして院生ら11人が参加。高校生31人が5グループに分かれ、院生が指導した。そのほか、都市計画の講義や空間解析演習、町歩き、つくばでの合宿なども行った。

鉾田市は県の東に位置する人口約5万人の街だ。今年3月に鹿島鉄道線が廃止され、バスも少ない。歩道が狭いため商店街から客足が遠のき、高齢化も進んでいる。2年後には茨城空港も完成予定で、まちづくり

の上で課題が多い。一方で、近くに海や川、湖が存在し、メロンは産出額全国1位であるなどPRポイントは多い。発表会では、中心部に一方通行の道路を造り、歩行者の安全を確保する▽中心部に密集している病院を郊外にも建設する▽環境学習施設「エコハウス」を宣伝し、川を活かしたまちづくりをする▽団塊の世代に農地の貸し出しを行う▽メロンにちなんだイベントを行う――などが提案された。

参加者からの「若い人たちに鉾田に残ってもらいたい」という声も聞かれた。発表を聞いた鉾田第二高校の教員は「優秀な学校の生徒だけでなく、地元に残る生徒も対象にしたらいいと思う」と語った。今回のWSは、科学技術

大学院再編

人文社会に区分制専攻

地域研究科の統合も

人文社会科学研究科は、来年度から、従来の5年一貫制の全6専攻のうち、社会学分野の3専攻を再編し、区分制の国際公共政策専攻、経済学専攻、法学専攻の3専攻とする。人文科学分野では、現代文化・公共政策専攻より分かれた現代語・現代文化専攻が区分制となる。また、地域研究科を統合し、前期課程の国際地域研究専攻に再編。後期課程には国際日本研究専攻を新設する。

国際公共政策専攻は、従来の現代文化・公共政策専攻の公共政策分野、国際政治経済学専攻の国際関係分野、社会科学専攻の社会学分野からなる。定員は前期15人、後期10人。そのほか現代語・現代文化専攻では前期10人、後期8人、経済学専攻で前期9人、後期5人、法学専攻は前期7人、後期5人が定員となる。

前期課程の国際地域研究専攻では、独立修士課程の地域研究研究科を統合・再編し、国際的な視野を持つ

つ日本研究者を育成する。入学定員は9人。昨年9月から今年1月にかけて人文社会科学研究科が進学を希望する学生を対象に実施したアンケートでは、社会学系の学生で80%以上が区分制の方が魅力的だと回答。人文系学類では、区分制と一貫制の希望が半々となっていた。

研究科長の坪井美樹教授(文芸)は「社会学分野では、修士号を取得して早く社会に出たいという学生も多い。区分制へ移行する。人文科学分野は、5年一貫制と区分制を並存させることで学び方を選べるようにしたい」と語った。

大学会館にオープン 紫峰会「UTショップ」 大学グッズやアイスを販売

本学の学生後援会である紫峰会が大学グッズの販売を行う「通称「UTショップ」が10月28日、大学会館本館2階にオープンした。記念式典が同日午前11時半

から大学会館で行われ、教職員や学生など約40人が参加した。同ショップでは、校章の桐の葉マークが入った文具のほか、つくば産のブルーベリーを使った「筑波大学桐餅(10粒入り:240円)や、農林技術センターの牛乳を使ったアイス(赤米味・黒米味・ブルーベリー味・ミルク味各300円)などを販売する。ショップ内にはテーブルと椅子が用意されており、その場でアイスを食べることができる。



スクールカラー紫ののぼりがショップの目印

また、これまで天久保3丁目にあった同会の事務所も、大学会館本館4階に移転した。事務所には団体向

から大学会館で行われ、教職員や学生など約40人が参加した。同ショップでは、校章の桐の葉マークが入った文具のほか、つくば産のブルーベリーを使った「筑波大学桐餅(10粒入り:240円)や、農林技術センターの牛乳を使ったアイス(赤米味・黒米味・ブルーベリー味・ミルク味各300円)などを販売する。ショップ内にはテーブルと椅子が用意されており、その場でアイスを食べることができる。

また、これまで天久保3丁目にあった同会の事務所も、大学会館本館4階に移転した。事務所には団体向

経産省が企業表彰

振興機構(JST)の平成19年度サイエンス・パートナーシップ・プロジェクト(SPP)に採択され、300万円の支援を受けた。同プロジェクトは文部科学省の「次代を担う人材への理数教育の拡充」施策の一環として平成18年度から始まった。本学のSPP

採択は初めて。参加した高校1年生の女子は「まちづくりは市の職員だけでなく、自分たちにも出来るんだと思った。つくばでの研修でコンピューターの使い方を学ぶことが出来た。将来の自分のためになった」と語った。TAの矢萩雅広さん(シ

ソフイーサー 開発ソフト「情報化に寄与」 受賞した。「Packetix VPN」は、同社が300万円の予算をかけ、04年に完成したソフト。ネットワーク上にさらに仮想ネットワークを構築することで、通信内容を暗号化し、外部から傍受や解読をしにくくする。数クリックでインストールが完了する、専門業者による管理が不要といった利点もある。すでに約2200社が導入し、約2万2000人のユーザーが利用している。

秋の叙勲 本学は7人受章 秋の叙勲が11月3日に発表され、本学関係者からは7人が受章した。江田昌佑名誉教授に瑞宝重光章、佐藤正名名誉教授と小笠原直巳元事務局長に瑞宝中綬章、井藤田道幸元病院部長、玉木卓郎元図書館部長、山本文夫元学務部長、吉田宏男元研究協力部長に瑞宝双光章が授与された。

健康診断書 自動発行機で発行 就職活動などで必要となる健康診断書が、今月中にも各支援室に設置されている自動証明書発行端末により交付できるようになる。

健康診断書は現在、保健管理センターに申請し、2日後に受け取るようになっていた。健康診断書は定期健康診断の結果に基づいて発行される。なお、健康診断で異常があった場合や、指定された様式の診断証明書、対抗試合などで必要な診断証明書は、従来通り保健管理センターでの交付となる。

ノーベル平和賞IPCC

人為的に起こる地球温暖化の認知を高めたと高く評価され、今年度ノーベル平和賞を受賞したIPCC(気候変動に関する政府間パネル)の第4次報告書に、本学から内山洋司教授(工学)と本田靖教授(ケア)が参加した。第4次報告書は3つの作業部会(第1部会:自然科学的根拠、第2部会:影響・適応・脆弱性、第3部会:気候変動の緩和策)からなり、内山教授は第3部会、本田教授は第2部会、代表執筆者(LA)を務めた。IPCCは地球温暖化についての科学的な研究を収集・整理するために、世界気象機関(WMO)と国連環境計画(UNEP)が

本学教員が参加 1988年に設立した政府機関機構だ。世界中の科学者が参加し、気候変動に関して適切な高い報告書を作成する。その情報は国際的な対策の枠組み作りについて話し合う土台になる。内山教授が担当したのは、第3作業部会のうちエネルギー供給に関する部分。化石燃料の使い方と資源の見直し、原子力技術について執筆した。内山教授は「今回のノーベル平和賞で、地球温暖化に対する国際的な取り組みが活発になることが期待される」と語った。

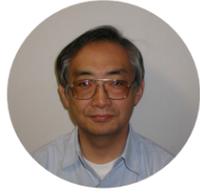
本田教授が担当したのは、第2部会のうち温暖化が人々の健康に与える影響に関する部分。アジア地域で考えられる影響について執筆した。本田教授は「地球温暖化は数十年は止まら

# 秋の夜長にこの一本 私が薦めるこの映画

秋は、心を豊かにするのによい季節だ。読書や美術鑑賞もいいが、映画で豊かな心になるのはどうだろうか。大切な誰かと映画館に行くもよし、秋の夜長にDVD鑑賞もよし。教員と学生にお薦めの映画を推薦してもらった。

## 社会派映画

好井裕明教授 (社会)



「ゴジラ」という映画がある。1954年11月に公開された、特撮怪獣映画の原点となる作品である。04年に「ゴジラファイナルウォーズ」が50周年記念作品として公開された。同時にそれがゴジラ世代の一人として、ゴジラに息づく反核

私が薦める

## アクション映画

黒田朋樹さん (休専4年)



ジャッキー・チェンの映画「THE MYTH」(神話) (2006年日本公開) が面白い。何せジャッキー映画には珍しく、ストーリーが絶妙だ。秦の国・始皇帝直属軍の蒙毅將軍(ジャッキー)の夢をよく見る、考古学者ジャック(ジャッキー)の恋・時空を越えた通りの痛快現代アクションを見せつつ、夢の中はH中核を盛り上げる。

「ゴジラ」を見てほしい。メイジはファンタジーと化しながらも生き続けるのである。また見ていない人はぜひ

## ゴジラに息づく反核

その後

そんな風に、アクションを抜きにしても最高に楽しめる映画だが、やはりジャッキーと言えはアクションだ!

## ロマンスとの調和の妙

インドでの「ねずみ捕り紙工場」の闘いはまさにコメディアクションの最高峰!ラストのニコちゃんマークは必見だ!



私が薦める

## アメリカ映画

宮本陽一郎教授 (文言)



アメリカで、冷戦期アメリカ文化についての論文を発表したときに、聴衆の一人に「フォック・オブ・ウォーマクナマラ元国防長官の告白」を見たとき、と気に入るよ」と声をかけた

私が薦める

## フランス映画

Cubeta Clara Eva クベタ・クララ・エヴァ 講師 (現公)



フランス映画の中でも、「アメリカ」は世界的な成功をおさめました。一種の現

## 若者像を描く3作

他に成功した作品としては、より現実に根ざした「真夜中のピギッシュな映画」です。

## 邦画

「Vicc」映画を創る会

「ツィゴイネルワイゼン」(1980年公開)。サラサテ自身の声が入った、ツィゴイネルワイゼンのレコード盤と、男女の狂気の話だ。ブルーボン賞最優秀監督賞、ベルリン国際映画祭審査員特別賞を受賞している。配給には、60-80年代にかけて前衛的な映画作品を生み出した「日本アート・

## 偶発的カットの美しさ

田敏八がよい。大楠道代は、赤撮り方が変だと思ふ。後半はずっとリンチの「インランド・エンパイア」のことを考えていたし、切通しを青地が通るところでは、廣末哲方の「14歳」の道徳を測量しているところを思い出していた。偶発的に変なカットが連続している。そして美しい、と思う。おもしろい作品であると思う。



訂正 本紙第264号3面のスポーツ外来の記事に、「復帰までに6-8週間かかる」とありますが、正しくは「1-2ヵ月」でした。お詫言して訂正します。



草創期の湯島聖堂

江戸の『学習』空間を再現

孔子像や壁画を展示

「本学の歴史の深さ知って」

本学と財団法人新文会との共催で孔子祭復活百周年記念事業「草創期の湯島聖堂」よみがえる江戸の『学習』空間が、10月6日〜11月25日まで、湯島聖堂大成殿(東京・文京区)で開催されている。守屋正彦教授(芸術)を中心とした本学芸術研究チームが、本学



柴田教授によって復元された孔子像

前身である師範学校が設立された。1923年に起こった関東大震災により聖堂の大部分が焼失し、中心に置かれていた孔子像や四配像、壁画は失われた。会場には、柴田良貴教授(同)が復元に当たったブロンズ製の孔子像と顔子・曾子・子思・孟子の四配像のほか、藤田志朗教授(同)が復元にあたった聖堂内の壁画「賢儒像扁額」などが展示されている。柴田教授が制作した像は展覧会後、来年4月の孔子祭で正式に本尊として迎えられる。また藤田教授が復元した壁画も奉納され、聖堂内に常設される。

藤田教授によるギャラリートークがすでに11月17日午後2時から、守屋教授のギャラリートークが開催される予定だ。聖堂の礼拝空間が再現されたことで、当時の儒学の位置づけなどが見えてくる。孔子像の造形や壁画に描かれた衣服の模様などは今後の研究の手がかりになる。守屋教授は「今回の展示は湯島聖堂と本学が密接な関係にあったからこそ実現できたもの。本学の歴史の深さを知るためにも、本学生にぜひ訪れてほしい」と語った。開館時間は午前10時〜午後4時半(入館は午後4時まで)。入場料は大人700円、学生、65歳以上、団体は400円。本学生なら学生証を提示すれば200円で入場できる。

「imable」 ショートフィルムなど上映

THK筑波放送協会のOB・OGを中心とした、本学生や社会人を含む15人が映像作品の発表などを行う「imable ―イマーブル―」が、10月22〜28日にかけて、総合交流会館のマルチメディアルームなどで行われた。ショートフィルムの上映やメディアパフォーマンスが行われ、193人が訪れた。

制作者と観客の交流図る 会場では、心模様を占う不思議な天気予報がその日の気持ちや予報するといふ、林正敏さん(シス情2年)の「こころ天気予報」など6つのショートフィルムが上映された。来場者から作品だけでなく制作者や他の観客との交流も楽しめるよう、カフェやメッセージボードも設置された。27日午後6時半からは、従来の表現形態にとらわれず、映像、音響、アナウンス、照明を複合的に組み合わせたメディアパフォーマンスが行われた。映像とバイオリン演奏を組み合わせた田中ゆりさんと田中洋一さん(生環1年)の「SHIRATSUYU―白露―」が、以前制作したテレビ番組を映像に合わせて朗読を披露した「リンゴとハチミツ」

原 点 GEN-TEN

私は小学生のころから歴史書を読むのが好きで、戦国時代をはじめとする過去の戦いや、それに翻弄される人々の生きざまに関心を寄せていた。歴史をはじめとする社会科は私の一番の得意科目でもあったが、大学は理学部に進学した。私は一生働きたかったのだが、当時の女子に考えられる職業は教員か公務員で、社会科の高校教師になるのは非常に難しかった。それで就職に有利だと考え、理学部化学科を選んだのだ。

歴史好きから「女性史」の道 自分の生き方見つめる学問を

化学も嫌いではなかったが、同級生が時間を忘れて実験に没頭するのを目の当たりにし、私にはとてもかかわらない、と思った。公務員か教員になるにしても、ずっと化学とつきあい続けなければならぬ。化学以外のことも興味があった。そして、自分の生き方、自分を取りまく環境、こうしたことを見つめられる勉強がしたかった。これを社会学として研究するのだから、こちらも勉強を強をしなければならぬ。卒業後の進路を決めかねていた時、ドイツに来ないか、と誘ってくれる



姫岡とし子

当時のフェミニズム運動がとても活発な時期で、私はこれに強い関心を持った。そしてドイツではじめてドイツ語で読んだ著書が、A・ベベルの「女性論」だった。ベベルは19世紀末から20世紀初頭にかけてドイツの社会主義運動を指導した人物だ。この著書は労働者向けに書かれていたため比較的やさしく、ドイツ語だったにもかかわらず、1カ月で読み終えることができた。しかもこの本の読了時には、私のドイツ語力も飛躍的に向上していたのである。



羽仁五郎

大学生の時に生協の本屋でふと目にした羽仁五郎の「続・都市の論理」に興味を持ち、それからいくつか読むようになった。どの本だったか「真理は少数にある。少数から議論するに当たっては、多数になる」という言葉は、その後の私の天文学や宇宙物理学の研究にも大いに役立った。何か新しい考えや今までにない計画を提案すると必ず反対されるか無視されたものであるが、そのたびにこの言葉を思い出した。



中井直正

当日は台風の影響で予定していた野外での上演ができなかったため、会場を大会館2階ホールに移して行われた。台風にもかかわらず30人以上が訪れ、嵐の夜の一時を楽しんだ。

真理を追求する勇気

自伝的戦後史

戦後のところは教員組合創立の秘話、日本学術会議の創設、参議院議員としての活動、学生運動との関わりなど具体的な事実を通して日本の政治と社会を述べているが、学問とは何か、大学とは何か、教育とは何かについても鋭く突っ込んでいく。いろいろ複雑な経緯から設立された本学の学生には、とりわけ必読の書であろう。昨年生誕100周年にあたり、東京教育大学の朝永振一郎さんは「ふしぎだと思つた、これが科学の芽です」と言った。これは自然科学だけではなく、人文科学や社会科学にも共通することである。しかるに東京教育大学時代の学生自治会を廃止し、大学新聞も教員の指導下においた本学は朝永さんの考えと相容れるだろうか。我々は朝永さんを大学の宣伝に使ったのではなく、朝永さんが大事だと言っていたことを学内で実現するよう努めることが大切ではないだろうか。

羽仁五郎著

学生諸君には、大学のこれまでの経緯はともあれ、「なぜだろう、不思議だな」と思つて物事の本質を洞察し、真理を追求し、勇気を振り絞ってあるべき姿を目指さなくては、とを願ひ、本書を推薦したい。(スペース 伽耶・2006年5月) (物理専攻・教授)

日本語の変容を語る

人文学類文化講演会 神戸大学人文学研究科の窪園晴夫教授を講師に招いての人文学類文化講演会が10月18日、「昭和の日本語―敬語、方言、若者言葉を中心に」をテーマに行われ、教員や学生など約70人が訪れた。窪園教授は、若者を中心とする敬語の乱れは、目上の人間に対する敬意の薄れ

が原因と分析。一方、若者言葉については、「デジカメなどの短縮語は、日本語の法則に則つたもの」と肯定的に述べた。また、窪園教授の故郷である鹿児島県の方言を取り上げ、若者と年長者の間にアクセントの違いがあることから、「方言も変容しつつある」と語った。背景に

メデアパフォーマンスに訪れた川端浩太さん(情報4年)は「いろいろな作品を見ることが出来て良かった。それぞれの作品について、もっと見てみたいと思つた」と話した。は、マスメディアの発達や地方視座などがあるとし、「報道では東京の言葉が使われ、内容も東京中心」と指摘。方言の衰退を食い止める試みとして、方言で報道されるイギリスのテレビニュースや方言の標語を紹介した。



# 学務課

本学生は入学式の時に資料がまとめた紙袋をもらう。学務課教務担当専門職員の関瑞穂さんは「新生の入学記念になるように」と本学のロゴが入った紙袋を使おうと提案した。その袋には入学年度ごとの色の違う開設授業科目一覧や、履修要覧などが入っている。「来年何色にするか考えるのが毎年楽しみなん



関 瑞穂さん

ですよね」と関さん。学務課の仕事は、大まかに言うところの学群の教育に関わることをすべてだ。教育課程の編成や、就職免許関係、学籍・成績管理とTWIN Sの管理、開設授業科目一覧の作成、履修要覧、教員手帳などの作成——そのほか

一日中会議と打ち合わせで終わってしまう日もあるという。それらの仕事が行われているのは、学生の目的に理解することが必要だと考えたからだ。その活動は業務改善として評価され、昨年には学長から表彰を受けた。

# 国際課

国際課は大学が国際交流を行う際の、事務的な手続きを行う部署だ。海外から訪れる来賓の接待もしている。実際に留学生の支援をする留学生センターとは

異なる。しかし、国際課は向上させるため、裏方で舞台を支えるのが私たちの役目。仕事への思いを語る。また、国際課で働く上では「語学力も必要だが、各国の情勢をなるべく知ることが大切」ということも強調をみたり、その地域の成り立ちを調べたりするのが好きで、本や新聞を通して世界の情勢に目を向けている。

# 国際交流の舞台支える



橋野 正美さん・柳田 なみ子さん

# 視点

学生生活の中で、本学に足を踏み入れるのは、顔見知りになれば、たまたま職員と学生という関係になり、お互いを近い存在に感じることが出来る。学生にとって職員が身近になれば、支援室や学生生活課、就職課などを気軽に訪れる学生が増えるのではないかと。

# 学生と職員 歩み寄りを

本学を卒業し、現在大学院に務めている職員の方は「在学中には想像できなかった仕事の量と種類の驚いた」という。学園祭を楽しめるのも、TWIN Sで履修登録ができるのも、職員力があってこそだ。学生には頑張っている職員に目を向けること、職員には学生を暖かく迎えてくれることを期待したい。お互いに歩み寄り、共に大学を作る意識を持てたらと思う。

# 教育担うアイデアマン

「新しいことができたときの達成感」という。「慣習にとらわれず、常にどうすれば大学や業務が良くなるか考える」と仕事への姿勢を語る。

関さんは以前、職員を対象にした、業務に関する勉強会を実施したことがある。「筑波大学はなぜ75分授業なのか」というような

「筑波大学を海外にアピールしている」と、とばかりではない。法的な規制もあり、厳しく管理しなくてはならない部分もある。また、たまたま学生や研究者が海外と交流を図るだけ

「筑波大学を海外にアピールしている」と、とばかりではない。法的な規制もあり、厳しく管理しなくてはならない部分もある。また、たまたま学生や研究者が海外と交流を図るだけ

# HELLO! 学務課



モデル：白人男性、描き手（左から）：アジア人1、アジア人2、白人3、白人4

フアンシ理論や人工知能を専門とする鬼沢武久教授(知機)の人間中心システム

情報処理研究室では、2002年から豊隆祭の学内研究企画で人間中心システムの展示を行っている。研究室で開発した人間中心システムを使い

鬼沢教授は、言葉によって人工知能にアプローチすれば、ユーザーの主観を反映させるのはないかと考えた。言葉はイメージを表現できる

人間中心システムでは、入力されたユーザーの印象やイメージを処理して

出力された似顔絵が満ち足りていないと修正したい箇所を入力し直す

白人男性の似顔絵を描いても、ユーザーによって眉毛が上り下がっていたり、顔の輪郭が細長かったりと微妙に違っていた、多様な似顔絵が作成される(II図)

似顔絵描写システムは、警察の目撃証言から似顔絵を作成する際などに応用が期待できる。このようなユーザーの主観を反映させる人間中心システムとして、現在は、

好みの洋服を作成するシステムや、人間らしくはったりを仕掛けているポーカーゲームなども研究中だ。鬼沢教授は、人間の感情も取り入れた人工知能システムの構築を目指している。(本紙・藤井沙織II社会学類)

# 人間のイメージには個人差 ユーザーの主観反映させる

人間中心システムとは、人間が持つイメージに合わせた処理をしてくれる、人間らしい振る舞いをするシステムのことで、工学の分野では数式や確率論で一つの解を導くが、人間は状況やその日の心理状態などに左右さ

では、ユーザーがコンピュータ画面上で輪郭、目、口、肩、耳などのパーツに対し、「目が大きい」「少しふっくら」といった顔の印象をもとに「大きい」「ふっくら」などを入力すると、似顔絵が出力される。

出力された似顔絵が満ち足りていないと修正したい箇所を入力し直す

白人男性の似顔絵を描いても、ユーザーによって眉毛が上り下がっていたり、顔の輪郭が細長かったりと微妙に違っていた、多様な似顔絵が作成される(II図)

似顔絵描写システムは、警察の目撃証言から似顔絵を作成する際などに応用が期待できる。このようなユーザーの主観を反映させる人間中心システムとして、現在は、

好みの洋服を作成するシステムや、人間らしくはったりを仕掛けているポーカーゲームなども研究中だ。鬼沢教授は、人間の感情も取り入れた人工知能システムの構築を目指している。(本紙・藤井沙織II社会学類)

# 卒業生からの手紙

私は比較文化学類を卒業後、社会人経験を経て、28歳から司法試験を志しました。そして、4回目の受験である平成18年に合格し、現在は司法修習生として、実務修習に励んでいます。



紆余曲折を経て弁護士に 司法修習生 久保 豊さん

司法修習生とは、一言で言えば、裁判官、検察官、弁護士への道です。司法修習生はトータルで1年4カ月、具体的には2カ月の前期集合研修、1カ月の後期集合研修を経て、前記法曹三者のいずれかとして実務に出ることになります。そして、司法修習の中心である実務修

習は4カ月の弁護士修習、民事裁判修習、刑事裁判修習、検察修習で構成され、法曹三者すべての立場を経験できる最初で最後の機会です。私は第一カールの弁護士修習を終え、現在は千葉地方裁判

むとは全く想像していません。学生時代は、将来の進路に迷い、大学にも行かず卒業も危うい学生でした。実際、大学卒業時には就職活動もせず、フリーターになり、オーストラリアを1年間放浪したりもしました。当時から、30歳までには自分の一生の仕事を見つけて、それまでは焦らずに自分の興味のままに生きようと思っていました。焦らずに、自分の目標、一生の仕事にたどり着くことあります。焦らずに、自分の一生の仕事を見つけた卒業生もいるというのを思い出してもらえたら嬉しいですね。(平成8年度比較文化学類卒)

紆余曲折を経て、一生の仕事にたどり着くことあります。焦らずに、自分の一生の仕事を見つけた卒業生もいるというのを思い出してもらえたら嬉しいですね。(平成8年度比較文化学類卒)

紆余曲折を経て、一生の仕事にたどり着くことあります。焦らずに、自分の一生の仕事を見つけた卒業生もいるというのを思い出してもらえたら嬉しいですね。(平成8年度比較文化学類卒)

# 茗溪山脈 体育・スポーツ列伝

## 岡田弘隆

世界チャンピオンに2度輝きながら、五輪の金メダリストになれなかった柔道家がいる。本学柔道部監督の岡田弘隆教授(体育)だ。

岡田は1967年、岐阜県に生まれた。柔道を始めたのが、小学校5年生のころ。進学した中学校が柔道の強豪校だったこともあり、岡田は次第に柔道に熱中し、大垣日大高校のころには軽重



91年の世界選手権で優勝を決めた小内刈り

量級(当時)でインターハイを制した。柔道で生きていく覚悟を固めた岡田は、徹底して柔道ができる環境を求めて、86年に本学に進学した。

入学後、86年の嘉納治五郎杯国際大会、87年のエッセン世界選手権で

## 世界を席卷した小内刈り

## 金メダルはついに届かず

優勝するなど、次々と好成績を収めた。得意の小内刈りは「岡田スペシャル」と呼ばれ、柔道界を席巻した。そして88年のソウル五輪への出場権を獲得、日本中の期待が高かった。

しかし地元観客のプー

切ったところで押さえず、一本負け。敗者復活戦にも出場できず、脱力感を抱いて帰国した。

その後、けがなどもあって、89年の世界選手権の代表から外されるなど、岡田はどん底の状態を味わう。そして考え抜

いた結果、より実力を出したため、階級を78キロ級から86キロ級(いずれも当時)に上げた。86キロ級は当時激戦区と言われた階級。逃げ遅れは、挑戦者の覚悟だった。バウルセロナ五輪までの4年間、金メダルを取ること

が、フランス国際での対戦から岡田が密かに注目していた相手だった。開始2分過ぎ、巴投げで有効を取るが、その後岡田は守りに入ってしまった。「守りきって勝ちたい」という気持ちが出た岡田に、ジリは激しく圧力をかけてくる。岡田は気力を振り絞って大内刈りを出す。崩れたところをシルにつぶされ「技あり」。逆転負けした。

銅メダルこそ獲得したが、金メダルはまたも岡田の手をすり抜けた。

アトランタ五輪へ向けて雪辱を誓った岡田だが、国内では中村佳央現旭化成柔道部監督ら若手が追いついてきた。やがて国内の重要な大会で

決勝まで勝ち進めなくなり、代表争いにも入れないなら現役を続けても仕方ない」と、95年8月に現役引退を表明した。

岡田は本学柔道部監督として、現役引退後から後進の育成に当たっている。北京五輪では、秋本啓之(体専4年)ら、教子の活躍が期待される。「五輪という場を経験している立場から、技術だけでなく、周囲から来るプレッシャーなどをさまざまなことを理解してやれる」と、経験者としての強みを語る。

2度にわたって五輪に拒まれた柔道家が、指導者として、北京でのリベンジを図る。(本紙11頁藤岡太・比較文化学類)

## 関東女子学生リーグ 4連覇で14回目の優勝

### 敗戦は拓大戦の1敗のみ

## バスケット

9月1日から行われていた第57回関東女子学生バスケットボールリーグ戦が、10月21日に閉幕した。本学は13勝1敗の圧倒的な成績

で14回目の優勝を果たし、4連覇を達成した。11月20日25日にかけて名古屋千種スポーツセンター(名古屋千種区)で行われるインカレで優勝を狙う。

本学はリーグ中盤まで11



日体大のディフェンスを破る富士(横浜文化体育館で)

連勝し、全勝で勝ち進んでいた。しかし10月14日に行われた拓殖大戦の2日目で、競り合いの末に66-71で惜敗し、初黒星を喫した。

内山治樹監督(体育・准教授)は「全勝ペースで、ほっとしていたところを突かれた」という。

翌週の、大会最多優勝校(32回)の日本体育大学との初戦では、前半日体大にリードを許すものの、後半に持ち前の「堅いディフェンス」で相手の得点を抑え、逆転に成功。75-69で振り切り、勝利した。

翌日の日体大との最終戦では、前日の苦戦の片りんも見せず、終始リードを保った。一方日体大は

## 田窪 あん馬で優勝

### 体操

北京五輪代表の選考会を兼ねた、体操の第61回全日本選手権が10月26日、代々木競技場(東京・渋谷区)で行われた。本学からはあん馬競技に出場した田窪啓太(体専2年)が優勝した。

また、個人総合では土性尚貴(同3年)、大久保奈美(同1年)が、それぞれ男

子と女子で21位となり、北京五輪への第一歩を踏み出した。田窪は総合では上位30位までの入賞を果たせなかった。

田窪の持ち味は、あん馬上での回転時、腰が平均より高いことによる足の高さだ。渡辺良夫男子体操競技部監督(体育准教授)は、あんな馬なら日本トップレベルだろう。他種目のミスで総

合上位に入れなかったのは残念だ」と語った。

土性は全体的に安定した演技を見せ、特に跳馬では身力カサマツ一回半ひねりを決め、技の確実性を競う高難度で1位となるなど、高い評価を受けた。また、大久保はあらゆる種目で安定した得点を重ねた。

今大会の上位30位までの入賞者として、陸上競技連盟が推薦する選手が、来年4月に行われる北京五輪代表の2次選考会に出場する。

## 3連覇ならず3位

### バドミントン

第58回全日本学生バドミントン選手権大会が10月20-25日にかけて、千葉ポートアリーナ(千葉市中区)で開催された。一昨

年、昨年と団体で2連覇していた本学女子は、準決勝で早稲田大学に敗れ、3位に終わった。女子シングルスでは、村松瑞穂(体専4年)が3位に入賞し、2年連続でベスト4入りを果たした。

女子団体は3つのシングルスと2つのダブルスで競われた。準々決勝の立命館大学との対戦では、シングルスで村松がストレート勝ちした。ダブルスで佐々木理恵(同1年)・田崎亜由美(同1年)ペアが勝ち星

を挙げると、第4ゲームまで2-2。試合は最終第5ゲーム、シングルスで柴村美帆(同3年)に託された。3セット目までもつれる接戦となったが、意地を見せジュースを制した。

準決勝の早稲田大学との対戦では、武田陽子(同2年)と村松がシングルスでともに2セットを落とし、柴村と南出なつき(同2年)で組んだダブルスも2セット目を21-9の大差で落とし、3-0でストレート負けした。

女子シングルスでは本学勢同士の対戦となる組み合わせもあったが、その中で村松が持ち味である積極的な攻撃を任せて、準決勝まで勝ち上がった。準決勝では、昨年準優勝した日本体

## 2回戦で惜敗

### 剣道

全日本学生剣道優勝大会 大学剣道の団体日本一を決める第55回全日本学生剣道優勝大会が10月28日、日本武道館(東京・千代田区)で開催された。64校が出場し、本学は2回戦で敗退した。

本学は1回戦で酪農学園大学を7-0で下し、好調な滑り出しを見せた。2回戦では昨年の準優勝校で、今大会3位の鹿屋体育大学と対戦。一進一退の攻防が続いたが、結局、0-2で惜しくも敗れた。

主将の高瀬武志(体専4年)は「4年生は最後の年で悔しい。だが、全員が一杯できたので、そういった意味では悔いはない。日



次につなぐための一戦に臨む吉田

## 小林が7位

### クライミングW杯

クライミングワールドカップ2007が10月13-14日に加須市民体育館(埼玉県)で行われ、14日のファイナルで小林由佳(体専2年)が27人中7位に入る成績を残した。

クライミングは安全のための確保用具のみを使い、体一つで岩や壁を上っていくスポーツだ。選手は初見のルートを上り、墜落時または競技停止時点で、ホールドと呼ばれるでっばりの高さで成績が決まる。

小林は13歳でジャパンツアーを制覇してから国内では無敗の18連覇を達成。2004年に開かれたワールドカップでは最年少で出場し、7位に入った。

小林は次の大会に向けて「今の課題は小柄な体を克服するためムーブ(クライミングにおける動作)のレパートリーを増やすこと」と話した。



小林由佳

## ベテランランキング

育大学の伊東可奈と対戦。鋭い球を打つ伊東に対し、村松は焦りからネットに引っかけてしまう。2セットを落とし、ストレート負けした。

吹田真士監督(体育・助)は「ベテランランキングは、技術面だけでなく、精神的な強さを高めていきたい。村松は攻撃と冷静さのバランスが不足していた」と話した。

その他の結果は次の通り。▽女子シングルス▽柴村美帆(体専3年)、佐々木ア、金山・南出ペア、佐々木・武田ペアいずれもベスト16

## テニス



勝田茂・名誉教授

日本テニス協会のベテランJOPランキング(9月8日付け)男子ダブルス70歳以上の部で、勝田茂・本学名誉教授(体育)が1位に入った。関西オープンテニス選手権大会での初優勝などが反映された結果だ。

勝田名誉教授は8月の時点で11位に位置し、2位となった浅尾司選手(小倉LTC)とは800点ほどの差があった。そのような中、浅尾選手が出場を見合わせた8月下旬の関西オープンに出場。元男子国別対抗戦デビスカップ出場者などを破って初優勝を果たし、450点を獲得した。他の大会の得点と合わせた結果、9月に初のランキング1位となった。

ベテランの世界では、日本代表経験のある選手やプロ選手などが多い。それに対して、勝田名誉教授がテニ

よく、力を出したが、もう一息だった。3年生以下の選手は勝負の厳しさを身につけて、今後頑張ってもらいたい」と語った。

男子監督の鍋山隆弘監督(体育・講師)は「調子もよい」と話した。

体一つで岩や壁を上っていくスポーツだ。選手は初見のルートを上り、墜落時または競技停止時点で、ホールドと呼ばれるでっばりの高さで成績が決まる。

小林は13歳でジャパンツアーを制覇してから国内では無敗の18連覇を達成。2004年に開かれたワールドカップでは最年少で出場し、7位に入った。

小林は次の大会に向けて「今の課題は小柄な体を克服するためムーブ(クライミングにおける動作)のレパートリーを増やすこと」と話した。

勝田名誉教授は、若いころに一流だった人は、自分自身はもともとまなまるつもりでやっている」と語る。今後に向けては「ベスト8に終わっている全日本ベテラン選手権で優勝したい。体力と技術の総合が結果となるので、80歳で叶えられればと抱負を述べた。

全日本選抜体重別選手権大会

# 秋元、伊部が初優勝

## 秋元、開始56秒で一本勝ち

### 伊部、予選決勝の雪辱果たす

#### 柔道

学生柔道の体重別日本一を決める全日本学生柔道体重別選手権大会が、10月13-14日にかけて、日本武道館(東京・千代田区)で開催された。本学からは18人が出場し、48キロ級の伊部尚子(体専2年)と60キロ級の秋元希星(同3年)がそれぞれ初優勝を果たした。

一方、重量級では本学勢は準決勝にも進めず、チームとしての地方に課題を残す結果となった。同大会初出場の伊部は、準決勝までほとんど効果一つもない粘り強い戦いを進め、決勝では浅見八瑠奈(山梨学院大学)と対戦した。関東予選の決勝で敗れた相手だけに「負けられない」と、意気込んだという。

試合開始から、お互いに学勢は準決勝にも進めず、チームとしての地方に課題を残す結果となった。同大会初出場の伊部は、準決勝までほとんど効果一つもない粘り強い戦いを進め、決勝では浅見八瑠奈(山梨学院大学)と対戦した。関東予選の決勝で敗れた相手だけに「負けられない」と、意気込んだという。



決勝では秋元の大内刈りが鮮やかに決まった(日本武道館で)

試合開始から、お互いに学勢は準決勝にも進めず、チームとしての地方に課題を残す結果となった。同大会初出場の伊部は、準決勝までほとんど効果一つもない粘り強い戦いを進め、決勝では浅見八瑠奈(山梨学院大学)と対戦した。関東予選の決勝で敗れた相手だけに「負けられない」と、意気込んだという。

秋元だが、大学入学後は高校時代にはインターハイ優勝という成績を収めた。大きき沸いた。

#### 首都大学秋季リーグ

## 打線つながらず3位

### エース坪井も不調

#### 野球

首都大学野球秋季リーグが9月8日-10月29日にかけて、平塚球場(神奈川県平塚市)などで行われた。昨年の秋季リーグでは10年ぶりのリーグ優勝を果たし、神宮大会に出場した本学だったが、今季は7勝5敗1分で3位に終わった。6勝3敗1分、2位で迎

えた10月14日の東京経済大学との2回戦で、本学は1回表に先制点を許し、2回にも2点を追加される。3点のビハインドで迎えた2回裏、5連打と押し出しで5点を逆転し、7回までに9点を奪う。先発の佐藤裕輝(体専4年)は、3回以降追加点を許さず完投勝利。2年連続の優勝に望みをつないだ。

20日に行われた首位の東海大学との1回戦、先発の佐藤は初回にタイムリーヒットで1点を先制される。その後は追加点を許さなかったが、打線の援護がなく、0-1で敗れた。

21日の東海大学との2回戦では、2回裏に6点を許した。5回表に3点を返し追いつけるも、その裏に1点を追加される。4点ビハインドで迎えた7回、3連続安打で1点を返し、2死満塁のチャンスを作るが、セカンドフライに抑えられ、4-7でゲームセット。春季に続いて、東海大学に優勝を決められた。

利は大きかった。「平岡拓は大きく残したい」と、今後の抱負を語った。

#### 全日本学生選手権

## 伊藤がシングルス準優勝

#### 卓球

大学卓球日本一を決める第74回全日本学生卓球選手権大会が、10月18-21日にかけて、愛知県体育館(名古屋市中区)で開催された。本学からは、女子シングルスで伊藤みどり(体専4年)が準優勝し、4年連続でラ

るよう、講道館杯などで成績を残したい」と、今後の抱負を語った。

大)と対戦。長身を生かしたドライブ攻撃が冴え、第3ゲームまで2-1とリードした。しかし、第4ゲームのカウントは2-2に。その後、伊藤のドライブ攻撃を杉本がフォアハンドスマッシュで返す試合展開が続いた。3-3で迎えた最終第7ゲームは、7-11で敗退した。

安藤真太郎監督(体育・講師)は「反省すべき結果。12月の全日本選抜、1月の全日本選手権で立て直しを図りたい」と話した。

と、すでに声がかかっているという。ロックというポジションは、背の高さと力強さ、運動量などが必要ことから、外国人選手を起用することが多い。それを日本人で埋める二人がぜひ欲しいというのだ。しかし二人は、「まだまだ」と、向上心が尽きない。

今野は「ロックに本来求められる、パワープレーが苦手」と自分の弱点を分析する。一方広沢は、「人をサポートするプレーが比較的得意」と語る。古川監督は「今野は、ボールを前に運ぶ強さを身につけると、よりよくなる。広沢は、もっと激しくアグレッシブに行ってほしい」と期待する。

## 女子、2年ぶりの優勝

### バレー

大学バレーの関東王者を決める秋季関東大学バレーボールリーグ部リーグ戦が9月15日-10月14日にかけて、男子はNECニューライブラザ(東京・府中市)、女子は青山学院大学記念館(東京・渋谷区)などで行われた。春季3位の女子は9勝1敗で2年振りの優勝を果たした。本学男子は5勝5敗で5位に終わった。

予選リーグで開幕戦から5連勝した本学女子は、9月30日、春季リーグと東日本インカレの覇者、青山学院大と対戦。セットカウント2-2で迎えた第4セット(レフト)の皆本明日香(体専2年)が故障により途中退場するも、キャプテン澤田文子(同4年)などの活躍でこのセットを勝ち取った。その勢いで最終セットも奪い、3-2で勝利した。

10月6日には東西インカレで優勝し、予選リーグ1位の嘉悦大と対戦。「エース皆本が不在となり、不安があった」と中西康巳監督(体育・講師)。嘉悦大にス

トレット負けを喫し、予選リーグを2位で終えた。決勝リーグ1位となる翌日の青学戦は、「完全に気持ちを切り替え、チームとして一つ階段を上った」と中西監督が言うように3-1で勝利。東京女子体育大戦も3-2で制した。

予選リーグ1位の嘉悦大との最終戦は10月14日に行われた。攻撃力の強い嘉悦大に対し、本学は強いサーブとブロックを決めた。第1セットを25-20、第2セットを25-19で連取。第3セットは、ブロックを

恐れずスパイクを打ってくる嘉悦大に23-25でセットを奪われる。第4セットは序盤から差がつかない展開となった。22-24で後がなくなったところで、4連続得点。26-24でセットを奪い、3-1で優勝を決めた。中西監督は「アクシデン

トはあったが、チーム力を発揮できた。上級生が安定感のあるプレーをし、リーグ初出場の1、2年生も頑張ってくれた」と語った。

12月の全日本インカレに向けては「サーブレシーブからの攻撃力を上げ、4年振りの優勝を狙いたい」と抱負を述べた。

本学男子は、春季リーグでは6位だったが、東日本インカレは準優勝、東西インカレも3位に入った。優勝も期待されていたが、上位の大学からは白星を挙げることができなかった。

都澤凡夫監督(体育・教授)は「課題だったサーブレシーブはかなり良くなった。上位との差はほとんどない。全日本インカレでは11年連続の決勝進出と王座奪回を目指す」と語った。

個人賞は次の通り。「女子」最優秀選手▽澤田文子▽スパイク賞▽中村早紀子(体専2年)▽レシーブ賞▽中村早紀子(男子)▽セッター賞▽菅直哉(同4年)▽リベロ賞▽永野健(同)

21日の東海大学との2回戦では、2回裏に6点を許した。5回表に3点を返し追いつけるも、その裏に1点を追加される。4点ビハインドで迎えた7回、3連続安打で1点を返し、2死満塁のチャンスを作るが、セカンドフライに抑えられ、4-7でゲームセット。春季に続いて、東海大学に優勝を決められた。

川村卓監督(体育・講師)は「優勝を目指していたので本意、打線がつながらず、投手もエースの坪井が良くなかった」と話した。

主将の高日一(体専3年)は「今回は悔しかったので次は負けたくない。チーム力を強化し、日本一になりたい」と語った。

表彰選手およびベストナインは次の通り。▽佐藤裕輝(体専4年・投手)▽古山昇平(同4年・一塁手)▽金堀哲也(同4年・首位打者・二塁手)

最近、ラグビー部の躍進が目覚ましい。9月9日に行われた試合では、強豪校である慶應大学に32-5で快勝した。躍進の一角を担っているのが、フォワードの要であるロックというポジションを任されている、今野達朗(体専3年)と広沢拓(同)の二人だ。

今野と広沢はそれぞれ190センチ95キロ、191センチ102キロという恵まれた体格を持つ。経歴も、今野は高校2年生でU17日本代表候補、高校3年生で東西対抗ラグビー東日本代表、広沢は高校3年生で高校日本代表と輝かしい。意外なことに、二人は高校入学時までラグーマンとなる意思はなかった。今野は高校で先輩に

## 顔

誘われて、広沢は中学までサッカーをやっていたが、体格が良かったことなどにより、高校からオファーを受けて、ラグビーを始めた。

ポジション柄、二人はコンビプレーをすることが多い。今野と広沢はそれぞれ190センチ95キロ、191センチ102キロという恵まれた体格を持つ。経歴も、今野は高校2年生でU17日本代表候補、高校3年生で東西対抗ラグビー東日本代表、広沢は高校3年生で高校日本代表と輝かしい。意外なことに、二人は高校入学時までラグーマンとなる意思はなかった。今野は高校で先輩に

と、すでに声がかかっているという。ロックというポジションは、背の高さと力強さ、運動量などが必要ことから、外国人選手を起用することが多い。それを日本人で埋める二人がぜひ欲しいというのだ。しかし二人は、「まだまだ」と、向上心が尽きない。

今野は「ロックに本来求められる、パワープレーが苦手」と自分の弱点を分析する。一方広沢は、「人をサポートするプレーが比較的得意」と語る。古川監督は「今野は、ボールを前に運ぶ強さを身につけると、よりよくなる。広沢は、もっと激しくアグレッシブに行ってほしい」と期待する。

今野と広沢はそれぞれ190センチ95キロ、191センチ102キロという恵まれた体格を持つ。経歴も、今野は高校2年生でU17日本代表候補、高校3年生で東西対抗ラグビー東日本代表、広沢は高校3年生で高校日本代表と輝かしい。意外なことに、二人は高校入学時までラグーマンとなる意思はなかった。今野は高校で先輩に

口をそろえた。(本紙・柏零)社会工芸類



フォワードとして躍進に貢献 広沢拓・今野達朗(体専3年)

## 補い合うコンビプレー

と、すでに声がかかっているという。ロックというポジションは、背の高さと力強さ、運動量などが必要ことから、外国人選手を起用することが多い。それを日本人で埋める二人がぜひ欲しいというのだ。しかし二人は、「まだまだ」と、向上心が尽きない。

今野は「ロックに本来求められる、パワープレーが苦手」と自分の弱点を分析する。一方広沢は、「人をサポートするプレーが比較的得意」と語る。古川監督は「今野は、ボールを前に運ぶ強さを身につけると、よりよくなる。広沢は、もっと激しくアグレッシブに行ってほしい」と期待する。

口をそろえた。(本紙・柏零)社会工芸類

大)と対戦。長身を生かしたドライブ攻撃が冴え、第3ゲームまで2-1とリードした。しかし、第4ゲームのカウントは2-2に。その後、伊藤のドライブ攻撃を杉本がフォアハンドスマッシュで返す試合展開が続いた。3-3で迎えた最終第7ゲームは、7-11で敗退した。

安藤真太郎監督(体育・講師)は「反省すべき結果。12月の全日本選抜、1月の全日本選手権で立て直しを図りたい」と話した。

と、すでに声がかかっているという。ロックというポジションは、背の高さと力強さ、運動量などが必要ことから、外国人選手を起用することが多い。それを日本人で埋める二人がぜひ欲しいというのだ。しかし二人は、「まだまだ」と、向上心が尽きない。

# 周囲の愛を支えに闘病

## 「元気になったら恩返しを」



環境系NGOにいたことも、「母国で将来同じ病気の人が出て、死なせない」と語る

シャガール・バドラー・ザヤさん(モンゴル、特別研究員、文芸)が今年3月に急性腎不全で倒れてから8カ月が経った。「ザヤさんを救う会」(発起人:小野澤正喜教授、歴任)では、腎臓移植より心臓に力がかか

る費用3000万円を捻出するため、5月20日から募金活動を行っている。現在までに約230万円しか集まっていない。

現在ザヤさんは30歳。週3回の人工透析に耐えながら、研究活動を行っている。自身の病状や将来、家族のことなどについて話を聞いた。(本紙:齋藤隆太、比較文化学類) 現在受けている人

日常生活に制限があり、まです。カリウム、リン、タンパク質、塩分などのバランスに気を付けなければならず、水分も1日600ccまでしか摂取できません。野菜や果物は食べられず、魚や肉は1日40グラムまで。食事管理を誤ると、心拍に異常が出るなど、体調が崩れます。

「救う会」の方々だけでなく、数え切れない人々からの支援や愛情に、私は包まれていきます。

病気になるまで、私は内面的に変わりました。それまでは自信満々に生きてきたのですが、人の温かい気持ち、友達関係の大切さ、医療関係者の優しさなど、さまざまな実感を、「生き方の意味をもっと感じました。元気になったら何をしたいですか。」

私は日本で医療を受けることが出来たために、こうして生きていられますが、本来はまず間違いなく死んでいた状態です。現在モンゴルでは透析機自体が不足しており、私と同様の病気になる人は1年程度しか延命できません。

私はさまざまな人からの愛情を支えられて闘病を続けていますが、モンゴルと同じような境遇にいる人たちに愛情を分け与えられるような道に進みたい。モンゴルは自由経済に移行したばかりで、国も準備不足です。モンゴルの患者さんのために何かすることは、みんなから受けた支援への恩返しにもなると思っています。

募金の振込先: 常陽銀行 研究学園都市支店104、口座名: ザヤさんを救う会、口座番号(普通) 34168009

# 休日の営業時間を変更

## 午後10時半まで利用可能に

宿舎の厚生事業に参入しているEXサービス(本社:千葉県野田市)は、11月1日付けで、宿舎浴場の土日・祝日の営業時間を、現在の午後4～9時(利用は午後9時半まで)から、午後5～10時(同午後10時半まで)に変更した。学生から土日の営業時間の延長を求め、営業終了後に利用者が殺到し、時間通りに営業終了できない状況が続いたため。

これまで宿舎浴場では、土日、営業開始直後の午後4時ごろには利用者がほとんど集まらず、営業終了間際の午後9時ごろに利用者が増えてきたという状況が

続いている。営業終了間際の30分間に、70人以上の利用者が詰めかけた日もよくあったという。そこでEXサービスでは、学生の要望も踏まえ、学生生活課と協議した上で営業時間の変更を決定した。

営業時間を午後4時に掘え置き、営業時間そのものの延長も検討したが、最近の原油価格の高騰から困難と判断し、見送った。

営業時間の変更された初日の週末となった11月3・4日には、午後9～10時の間、一の矢浴場では3日に110人、4日に84人が利用した。4日に一の矢浴場を利用した高松正典さん(生資1年)は「土日で

で、厚生施設を充実させていってほしい」と語った。EXサービスフードサービス部フード事業課の矢野倉佳彦課長は「今後、営業時間変更の要望が学生からあるようなら、順次対応していきたい」と語った。

コート保護のため開放されたコートでは、サーブでコートに置かれた9枚のボードを打ち抜く新企画「サーブエース」が行われた。これまでテニスコートは、「黒い靴で入ると靴の跡がつく」「スパイク状の靴で入るとコートが傷つく」などの理由で開放が見送られて

きたが、係員が入り口に立って靴をチェックすることによって、開放が実現した。サーブエースに参加した吉富勇介さん(人文3年)は「開放されたことには満足。9枚ヒットを狙っていたので結果には不満です」と語った。

今回からの新企画「トム&ジェリー」は、20日の午後1時半から陸上競技場で行われた。直徑約50メートルの円の中に赤黄緑のボールをまき、参加者と同じく赤黄緑の3チームに分ける。それぞれのチームの色は満足。9枚ヒットを狙っていたので結果には不満です」と語った。

赤チームが174ポイントで優勝した。ジェリー役をやった矢野慎也さん(社工4年)は「みんなハイエナのように群がってきて、振り払うのが大変だったが、楽しかった。来年もこんな楽しい企画を立ててほしい」と語った。

参加者には今回から学生証の提示が求められるようになった。正式競技のトーナメントで、一人が複数のチームに加入することを防ぐためだ。昨年は決勝に進出した2チームで、同じ学生が両方のチームに加入していたという事態も起こっていたという。

スポーツ・デー実行委員会の井上悠さん(工基礎3年)は「来年も、一人でも多くの人に来て頂き、少しでも満足してもらえようという企画を作りたい」と語った。

パンの街つくば 学生がパンをデザイン 新製品の発表行

つばは産業フェアが10月27・28日につくばカピオと大清水公園(いずれもつくば市竹園)で開催され、つくば市内のパン屋と本学生らが取り組んできたプロジェクト「パンを形作る(かたむね)」の新製品が展示された。会場では「私のつくば」というテーマで第4回パンコンテストも行われ、来場者からは「見ているだけで楽しい気分になる」などの感想が寄せられた。

「パンの街つくば」はつくば市商工会が主催し、2005年のつくばエキスポレス(TX)開通に合わせ、スタートした。



工夫を凝らしたパンの数々に見入る子どもたち

の学生15人が連携して新製品を生み出す企画だ。今年4月からミーティングを始め、今回のつくば産業フェアが新製品のお披露目の場となった。

本学生が携わった新製品は全部で4点。四つ葉のクローバーをかたどったパンや、豆を使ったパンなど、学生9人と筑波技術大学の生アイデアが散りばめられていた。

4月からは産業フェアがビーター・パン吾妻店と共同で取り組んだ新製品の名は「ビーター食パン」。ひじきとクリームチーズを食パンに塗り、和洋の組み合わせにした。尹さんは「パン屋さんのパンへのこだわりや思いに触れた良い経験だった。多くの人につくばのパンを食べしてほしい」と話した。

つくば市商工会の浅野和男さんは「新製品を前に、味もよく、デザインもプロ並み。コストがかかっているため実際に売り出すのは難しい面もあるが、とてもよい出来映えだ」と語った。

新製品が店頭に並ぶかは各パン屋の判断による。今のところ販売予定はないが、販売を目指し改良を重ねるパン屋はあるようだ。

海外インターン説明会 研修生が体験語る 現地の写真も展示

海外インターンシップを支援する海外インターン推進委員会が11月1日、1D204で海外インターン説明会を開いた。研修生による体験談や現地で撮影された写真の展示が行われ、80人ほどが足を運んだ。

社会心理学を専攻している田村圭香さん(文学部3年)がインドでのインターンシップについて話した。また、田村さんが活動の一環で制作した、現地の十分に教育を受けられない子供たちの現状を描いたドキュメンタリーを上映した。

説明会を訪れた丹治絢子さん(社学1年)は「自分の中で海外は留学先というイメージが強くて、発展途上国を見る姿勢が欠けていたことを感じた」と感想を述べた。

今回の企画を主催した高橋千里さん(国総3年)は「自分が海外へ出てみて、今いる場所を外から見ることで、できることを知るきっかけをもらいたい」とこの活動の意義を語った。

学生論壇 社会への声

昨年夏の生物学類の大学説明会。つくば市に住む高校生の母親の発言が、学生スタッフの後輩の心を打った。「つくば市内に住んでおり、距離的には自宅から大学まで自転車で十分通ることができると、夜間は街灯がなく道路が真っ暗になって、とても女の子ひとりでは通わせることができない。もし入学することができたら宿舎に入れようと思う」

彼自身も入学当初から街灯が少ないのは気になっていた。犯罪が多いのもそのせいかなと思っていた。この母親の発言は彼にとって、せつなく市内に住んでいるのに経済的に大変だ、という感想とともに、「気になる」から一歩踏み出すきっかけとなった。

まず、彼は勇気を出してつくば市のホームページから市長にメールを送った。その結果、担当部署から「詳しく話を聞きたい」と連絡が来た。

ホームページから市長にメールを送った。その結果、担当部署から「詳しく話を聞きたい」と連絡が来た。

「気になる」から一歩踏み出すきっかけとなった。

学生の声が市を動かす

「このほかにも、市内各所に置かれている「つくば市長への手紙」という葉書を使う方法もある。このように、遠い場所のように感じるつくば市の政治は、実は身近にあるのだ。これを眺めている皆さんも、いくつか「こころ」を感じてほしい」と感じていることがあると思う。そういった思いを大切にして、このような方法を有効活用して声を上げてほしい。一人の声より二人、三人、多数の声。声が大きくなれば政治を、つくば市を動かすこともできるかもしれない。そのためには他人事ではなく、あなたの声が必要だ。(桑谷 悟 生物学類4年)

# 北条の町おこし 物産展「北条市」を開催



昭和30年代ごろの正月の初市を思わせる北条市の屋台(北条ふれあい広場で)

## 本学生チームも参加

### 2日間で約500人が来場

筑波山神社への旧参道が10月20、21の両日、物産展「北条市」を北条ふれあい広場(旧役場跡地)で開催した。29店舗が軒を連ね、つば市などから約500人が来場した。本学生チームは、5月ごろから北条商店街に足を運ぶ、町の人々と協力しながら町づくりに動き出した。同日は、同科目を履修する「北条再生プロジェクト」チームの学生も加わった。学生が竹でドーム形のアーケードを組み上げた屋台で、北条商店街にあるしょうゆや味噌など地元の特産品や工芸品を販売。筑波山名物、がまの油売りの口上も披露された。本学生も似顔絵の店を出した。来場者には本学生がデザインした

手ぬぐいも配布された。来場者からは「もっとお店があればいいのに」と一定期的にやってほしい」といった感想が寄せられた。チーム代表の田中佐代子さん(芸術修士1年)は、学生と町が一緒になって市をつくるのが面白かったとプロデュースの町おこしを話した。21日には、明治初期に建てられた米穀商の店舗を改装した北条ふれあい館「岩崎屋」もオープンした。岩崎屋は、「北条街づくり振興会」(会長 坂入英幸さん)を主体とする安藤教授と、商店街の再生を応援していきたくて話している。今回の市開催も企画した。

一つ、北条の観光案内や物産販売を行うほか、カフェも設け、地域住民の交流拠点となることを目指す。安藤教授は「学生の参加によって独自産物を作るなど、商店街の再生を応援していきたくて話している。今回の市開催も企画した。

「相次ぐネット詐欺被害」 インターネットを介した架空請求などで、本学生が4年生が3万6000円の被害に遭っている。また8月29日には、本学の4年生が架空請求のはがきに35万円を振り込んでしまうという事件も発生した。

「相次ぐネット詐欺被害」 インターネットを介した架空請求などで、本学生が4年生が3万6000円の被害に遭っている。また8月29日には、本学の4年生が架空請求のはがきに35万円を振り込んでしまうという事件も発生した。

「相次ぐネット詐欺被害」 インターネットを介した架空請求などで、本学生が4年生が3万6000円の被害に遭っている。また8月29日には、本学の4年生が架空請求のはがきに35万円を振り込んでしまうという事件も発生した。

「相次ぐネット詐欺被害」 インターネットを介した架空請求などで、本学生が4年生が3万6000円の被害に遭っている。また8月29日には、本学の4年生が架空請求のはがきに35万円を振り込んでしまうという事件も発生した。

### 3A棟 混雑する第二エリア 厚生施設12月から再開

7月から3A棟で行われている改修工事に伴う影響が、学生生活に尾を引いている。2学期が始まった当初から、2A棟の大食堂が混雑するなどの状態が続き、現在も同様の状態にある。2A棟の大食堂を運営している財団法人学校福祉協会で、昼休み時間5割、夜間でも5割程度、提供する食事の量を増やして対応している。

同協会によると、昼休みの時間帯もさることながら、夜間にホールでくつろぐ学生が増えたという。第一エリアの食堂も午後4時には閉まってしまふ。他に夜間に学生を吸収できるようなスペースが少ないため

「相次ぐネット詐欺被害」 インターネットを介した架空請求などで、本学生が4年生が3万6000円の被害に遭っている。また8月29日には、本学の4年生が架空請求のはがきに35万円を振り込んでしまうという事件も発生した。

「相次ぐネット詐欺被害」 インターネットを介した架空請求などで、本学生が4年生が3万6000円の被害に遭っている。また8月29日には、本学の4年生が架空請求のはがきに35万円を振り込んでしまうという事件も発生した。

「相次ぐネット詐欺被害」 インターネットを介した架空請求などで、本学生が4年生が3万6000円の被害に遭っている。また8月29日には、本学の4年生が架空請求のはがきに35万円を振り込んでしまうという事件も発生した。

「相次ぐネット詐欺被害」 インターネットを介した架空請求などで、本学生が4年生が3万6000円の被害に遭っている。また8月29日には、本学の4年生が架空請求のはがきに35万円を振り込んでしまうという事件も発生した。

「相次ぐネット詐欺被害」 インターネットを介した架空請求などで、本学生が4年生が3万6000円の被害に遭っている。また8月29日には、本学の4年生が架空請求のはがきに35万円を振り込んでしまうという事件も発生した。

### 交通安全指導

## ヘデ上で初の実施

### 無灯火への注意喚起も

本学内外で自転車事故が多発していることを受け、学内交通安全指導が、10月19日午前11時15分～12時の間、ペDESTリアン上で、学生生活支援室、総務課、学生生活課、全学学類・専

門学群代表者会議(全代会)の主催で行われた。つば市中央警察署とつば市生活安全課の協力も得て、総勢30人で学生の指導に当たった。交通安全指導は、春の交通安全週間にループデSTリアン上の中央図書館

前から第一エリア付近と、体芸支援室前から体芸食堂付近の2カ所。自転車事故防止を訴えるビラの配布とスピーカーでの呼びかけ、警察署から提供された自転車の車輪に取り付けられる反射板約100個の無料配布を行った。

指導をしたつば市中央警察署交通課の職員は「学内には、会館前の坂など危険な場所が多く驚いた。歩行者と自転車が入り交じり、スピードも出ているのでとても危険だ」と話した。

11月5、8、9日には、チューデントプラザ前、砂共用棟前、追越共用棟前で、全代会などの主催で自転車の無灯火運転防止に関する指導を行った。学生生活課では12月にも交通安全指導を行う予定だ。

「相次ぐネット詐欺被害」 インターネットを介した架空請求などで、本学生が4年生が3万6000円の被害に遭っている。また8月29日には、本学の4年生が架空請求のはがきに35万円を振り込んでしまうという事件も発生した。

「相次ぐネット詐欺被害」 インターネットを介した架空請求などで、本学生が4年生が3万6000円の被害に遭っている。また8月29日には、本学の4年生が架空請求のはがきに35万円を振り込んでしまうという事件も発生した。



自転車を押す学生にビラを配る学生生活課職員(第一エリアで)

## RICOCHET

「水切り遊」

「水切り遊」

「水切り遊」

「水切り遊」

「水切り遊」



## 筑波のおしゃれ発信源に

「ノーファッション、ノーライフ!」と天津さん。遊び心いっぱいのコシエが、新たなファッションの発信源となる日が来るかもしれない。(本紙・松本典子)II文学類

## 探る tanbō

先月行われた第33回雙峰祭の目玉企画「雙峰っ娘純情☆」。赤、青、白のあでやかなドレス姿の出場者が花道を歩く、会場からは歓声があがった。彼女たちのドレスを手がけたのが、本学の服飾サークル「RICOCHET」だ。RICOCHET(リコシェ)は、大津麻衣子(比文2年)を中心とした「ファッション」に興味のある仲良し7人が立ち上げた。団体名はフランス語で「水切り遊」

「水切り遊」

「水切り遊」

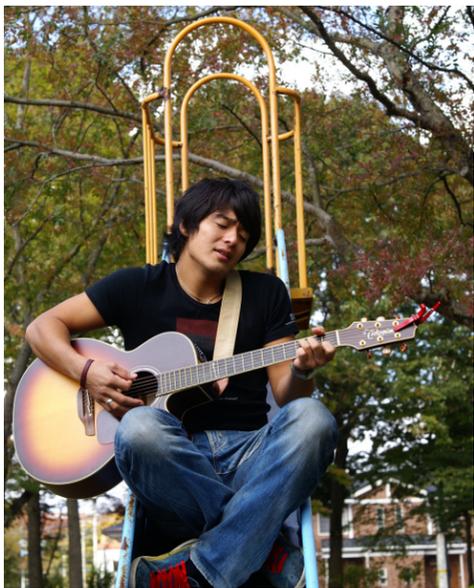
「水切り遊」

「水切り遊」

# Who's Who?

日本アマチュアシャンソンコンクール優勝

## 倉井 克幸 さん (国総4年)



公園の滑り台で歌う「永遠の小学生」

「シャンソンとの出会いは高校3年生の時に1年間留学したフランスだった。倉井さんは人と違っていたことをしたかったのだ。」

シャンソンとの出会いは高校3年生の時に1年間留学したフランスだった。倉井さんは人と違っていたことをしたかったのだ。

### ギターと旅し 歌手目指す ソロライブで自身の曲披露

イブだ。テスト期間中も平砂の宿舎で作曲に没頭した。今までに作った曲は30曲になる。シャンソンを歌う倉井さんだが、自身で作る曲は人生を

イブだ。テスト期間中も平砂の宿舎で作曲に没頭した。今までに作った曲は30曲になる。シャンソンを歌う倉井さんだが、自身で作る曲は人生を

「自分の歌を聞いて元気になった、と言ってもいいかもしれない」と、倉井さんは、笑顔で話している。倉井さんの人柄を「小学生がそのまま大きくなった感じ」と語る。

「自分の歌を聞いて元気になった、と言ってもいいかもしれない」と、倉井さんは、笑顔で話している。倉井さんの人柄を「小学生がそのまま大きくなった感じ」と語る。

### 宿舎入居者募集

#### 単身用は27日から申込

在校生を対象とした学生宿舎の来年度入居者募集が始まっている。

募集開始 11月15日から  
申込受付 11月27日～30日  
抽選 12月6・7日(春日)

申込受付は、春日単身用は春日学生宿舎管理事務所、その他は平砂学生宿舎管理事務所。

■一人部屋  
募集開始 11月9日  
申込受付 11月16日～18日  
抽選 11月22日  
申込受付 12月11日～13日  
抽選 12月19日  
発表・部屋割りの抽選(掲示)

### 奨学金返還説明会

#### 12月5日に学生会館で開催

日本学生支援機構奨学金の返還説明会が、12月5日午後3時～4時半まで、学生会館講堂で開催される。

平成20年3月に満期を迎える学群と大学院の奨学生が対象。

当日は、返還に関わる手続きなどについて説明を行う。

### 3R+ECOVCIE

#### リサイクル企画スタッフ募集

環境サークル「エコレンジャー」と全代会厚生委員会(学生会)の共催で行われるプロジェクト「3R+ECOVCIE」で、現在企画の部局スタッフを募集している。応募期限は11月30日まで。

「3R+ECOVCIE」は、卒業などで不要になった生活用品を回収し、4月に新生活用品を無料で提供するというプロジェクト。

### 催事

#### 演奏会

◆カッツライブTTSUKUBA WAMPAKU 2007、12月1日(土)午後2時開演。

日本アマチュアシャンソンコンクールで優勝した国総4年の倉井克幸さんによるライブ。オリジナル曲など10数曲を予定しており、

#### 催事

間に劇を挟む。チケットは一般2000円、学生1000円。問い合わせ先 0429353421

◆クリスマスコンサート 2007 芸術系サークル連合会に所属する13団体による企画。展示は12月17日～23日まで。入場料は無料。午後3時開演。入場料は無料。本学からは現教員7人、旧教員、在学生、OBなどが出演する。

#### 催事

◆エコバックフォーラム 11月17日(土)午後1時～4時、つくばセンタービル内つくばインフォメーションセンターで。入場料無料。入退場自由。

「レジ袋削減とエコバッグ」というテーマを中心に、市民・学生・企業がそれぞれの環境活動を発表する。「レジ袋の環境経済政策」著者、舟木賢徳氏による基調講演や、ジャスコ、カスミによる活動報告を行う。

### 催事

#### 催事

◆第13回つくば現代美術展 (871・3376)

今月の1位は東野圭吾の「探偵ガリレオ」。

3位は田村裕の「ホームレス中学生」。人気漫画コンピ「麒麟」の田村裕は、突然父親から「家族解散」を宣言される。中学生ながら兄弟と別れ、ひとりの公園生活を始めた彼の青春を描く、切な温かい自叙伝(言語学フェア、研究社100周年フェア 11月16日まで、丸善出版限定50タイトル特価フェア 11月中旬より12月20日まで)

## 筑波自然図鑑

### ◇ヒガンバナ◇



「深紅」と言えば、甲子園の深紅の大優勝旗が思い浮かぶが、自然界における「深紅」とはこのような色のこと。この鮮やかさゆえか、球根に毒を持つ。昔の人はこの有毒性に注目し、田んぼやお墓を動物たちから守るためにヒガンバナを植えたそう。

秋の田んぼ道には「彼岸や「コスモス」など天をたまた名前の花が目につく。しかし夕暮れ時、立ち止まって眺めていると、さもありなんと思ふときがある。(写真・文 尾澤岬、自然2年 野生動物研究会)

### 新人記者募集

★マスコミを目指している人、話をするのが好きな人、スポーツ取材をしたい人……

初心者でも大丈夫！2年生急募！

編集会議は月曜日午後6時半から共同研究棟A104で行っています。

問い合わせ：029(853)6699  
shinbun@sakura.cc.tsukuba.ac.jp

次号は  
**12月17日(月)**  
発行予定です

### 学生会館書籍部ベストセラー

1	探偵ガリレオ	東野圭吾/文芸春秋
2	天使の梯子	村山由佳/集英社
3	ホームレス中学生	田村裕/ワニブックス
4	予知夢	東野圭吾/文芸春秋
5	「1日30分」を続けなさい！人生勝利の勉強法55	古市幸雄/マガジンハウス
6	夢をかなえるソウ	水野敬也/飛鳥新社
7	「喪失」の物語から「転換」の物語へ	黒古一夫/勉誠出版
8	官邸崩壊	上杉隆/新潮社
9	脳研究の最前線(上)	理化学研究所脳科学総合研究センター/講談社
10	脳研究の最前線(下)	理化学研究所脳科学総合研究センター/講談社